

流通ビジネス科

販売やサービス等のビジネス活動に興味・関心がある人、また流通に関する高度な資格を取得し、企業経営に積極的に参加しようとする意欲のある人は、ぜひチャレンジしてみませんか？

ビジネスの潜在能力を開花させてみませんか？

流通ビジネス科では、ビジネスの専門的な知識「マーケティング」について学習し、具体的に売れる商品の情報収集や陳列方法、価格の決め方、また「いかにして商品やサービスの価値を正しく伝え、たくさん売るか」という「広告」や「販売促進」について学び、消費者ニーズを的確に捉える力を3年間で身に付けます。さらに、消費者の視点に立って商品の企画・開発や提案することができる力とともに自分の考えたアイデアや企画をプレゼンテーションできる能力を身に付けて、即戦力として実社会で活躍できる人材を育成します。

流通ビジネス科

マーケティングを中心に、簿記や情報処理を学習し、ビジネスリーダーおよびマーケットとして活躍する人材、ビジネスのプロとして会社経営者、中小企業診断士、経営コンサルタントなどを目指す人材を育成します。

卒業生の声

流通ビジネス科卒
名城大学 経営学部卒
株式会社サンゲツ
林 孝至



科目を学んで果たして意味があるのか？と思っていましたが、現在の業務でこれらの知識は非常に役に立っており、頑張っただけで良かったなと実感しています。

マーケティングに関して高校で面白さを実感し、大学のゼミでマーケティング専攻のゼミを選択しました。高校、大学で学んだマーケティングの知識を将来、サンゲツで活かしたいと思っています。夢はインテリア商品の企画や、テレビCMのプロモーションに携わることです。

皆さんも流通ビジネス科で学び、即戦力のビジネスパーソンになりましょう！

県岐商で過ごした3年間は私の宝物であり、原点です。現在私は株式会社サンゲツで、取引を管理する部署で債務管理を担当しています。高校時代、私は流通ビジネス科で主にマーケティング、会計、情報処理を学び、それぞれの資格に挑戦し、合格することができました。当時は「この3つの

販売実習



3年生では、校外で販売実習を行います。1・2年で学習したことを活用して、クラスごとに販売する商品を決め、仕入先を探して価格を交渉し、POP広告の作成、商品陳列、販売を行います。自分たちで計画したことを実現させる難しさと楽しさ、嬉しさを体感することができます。

会計システム科

簿記会計や金融に興味がある人、また簿記会計分野に関する高度な資格取得を目指す意欲のある人は、ぜひチャレンジしてみませんか？

ビジネスのコミュニケーションツール(言語)である「会計」を学ぼう！

ビジネスでは、「会計」を通じて会話をします。「この会社は商売の相手として信用できるのか」「この会社の株を買った方が良いのか」といった判断は、「決算書(財務諸表)」をもとに行います。「決算書」を作成する技術を「簿記」、活用する技術を「会計」といいます。私たちが会話をするために日本語や英語が必要であるようにビジネスを行う上で「会計」の知識・技術を身に付けておくことは大変重要です。会計システム科では、「簿記」・「会計」・「経営」の知識・技術を身に付け、会計・経営のスペシャリストとして企業で即戦力として活躍できる人材を育成します。

ファイナンシャル会計類型

簿記、情報処理などの商業の学習に加え、日商簿記検定1級の学習に多くの時間を充てて、企業の財務・経理や金融のスペシャリスト、公認会計士や税理士など職業会計人、経営のプロとして加圧できる人材をお育成します。また、英語に多くの時間を充てグローバル化に対応しています。

マネジメント会計類型

商業の基本である簿記や情報処理などの力が身に付くよう、多くの授業を充てるとともに、部活動とも両立できるよう授業の編成にも工夫がなされています。また、経済事情に関する学習も取り入れ、社会で即戦力として活躍できる人材を育成します。

(株)GIFUSHO業務で活躍!



会計システム科では資格取得だけでなく、(株)GIFUSHO業務にも力を入れています。

マネジメント会計類型は体操服や岐商グッズを校内で販売する「学内販売事業部」、ファイナンシャル会計類型は会社の財務経理を一手に担う「財務経理事業部」を担当し、業績アップに貢献しています。



卒業生の声

会計システム科卒
有限責任監査法人 トーマツ
名古屋事務所 スタッフ
濱野恵梨菜



かできない監査業務についての話を聞き、憧れを持ち公認会計士を目指しました。

そして、高大連携協定を締結している朝日大学へ進学して試験に合格し、監査法人に就職しました。今は主に監査業務を行っており、製造業、小売業、金融機関やゲームアプリを作っている企業など様々な業種の企業で監査を行いました。実際に色々な会社の監査を行うことによって新しいことを知ることが多く、毎日勉強になっています。

今、こうして新鮮な毎日を送っているのは、高校時代に簿記に出会ったことがきっかけだと思っています。会計を活かした仕事としては、公認会計士は一例にすぎません。どの会社にも会計は必ずあるものなので、関わる機会はいくらでもあると思います。その時には必ず、高校で学んだ簿記が役に立つと思います。

私は、何か資格がほしいという理由で県岐商に入學しました。はじめは簿記がどのようなものも全く分からない状態でしたが、授業で学習を進めるうちに企業の一年の膨大な取引の仕訳を切り、それを集約して企業の成績表である財務諸表を作成することに興味を持ちました。そして、高校では監査法人見学に参加し、公認会計士し